

1 熊本県議会改革・活性化検討会設置の経緯

(1) 馬場議長からの議会改革・活性化に関する諮問

平成23年度頃から、議会運営委員会での他県議会視察調査の際、各委員から調査内容に関連して、委員会のあり方や、県民に身近でより開かれた議会実現等に関するさまざまな意見があった。

また、複数会派連名による「県議会の活性化のための申入書」等も、馬場議長あてに提出された。

そのような状況を受け、平成24年12月13日、議長から議会運営委員会に対し、熊本県議会の改革・活性化のため、下記の事項について検証し取り組みを検討するよう、諮問がなされた。

- ① 委員会の活性化に関すること
- ② より開かれた県議会実現のため、議会の広報等に関すること
- ③ その他議会運営の充実に資すると考えられること

(2) 熊本県議会改革・活性化検討会の設置

馬場議長からの諮問を受け、平成24年12月13日開催の議会運営委員会において、議長の諮問機関として超党派による「熊本県議会改革・活性化検討会」を設置することが決定された。

【検討会構成】座長：松田三郎 副座長：森 浩二
委員：西岡勝成、 城下広作、 鎌田 聡、
松岡 徹、 湊上陽一、 九谷高弘

2 検討会の開催経過

(1) 第1回議会改革・活性化検討会 (平成24年12月20日)

座長・副座長の選出。

これまでの議会運営委員会等での議運委員からの意見を踏まえ、松田座長から、議長諮問の内容に関する22の検討項目案を提示。

(2) 第2回議会改革・活性化検討会 (平成25年1月28日)

第1回で提示された22の検討項目の中から、主に運用の見直し等により比較的スムーズに実施できると思われる10項目について審議された。

また、各委員から追加で検討すべきとする項目が提示された。

(3) 第3回議会改革・活性化検討会 (平成25年2月6日)

第2回検討会において持ち帰り検討となった項目及び各委員からの追加提案項目について審議された。

また、答申(案)については、松田座長作成後各委員へ送付→各委員から意見提出→個別に委員長と連絡調整し、まとめることが申し合われた。